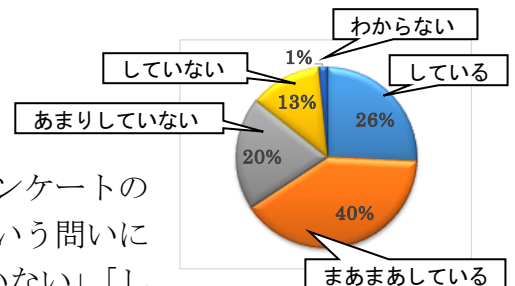




家庭学習のススメ

右のグラフを見てください。先日児童に行った学校生活アンケートの「宿題以外に、自分で計画を立てて勉強していますか。」という問いに対する答えです。約 3 分の 1（33%）の児童が「あまりしていない」「していない」と答えています。「宿題以外にするのがめんどろ」「何をしたいのか分からない」等が原因となっているようです。この結果から、本校の子どもたちは少人数の良さを生かしながら学習意欲の向上そして学力向上へと確かな歩みを続けていますが、更なる高みを目指すためには、学校での教育活動を充実させることはもちろんのこと、そこに加えて『家庭での学習習慣の確立と内容の充実』が大切であると考えられます。



そこで、2 学期末も近いこの時期ではありますが、本校独自の『家庭学習の手引き～自ら学ぶ子をめざして～』を作成し、その実践を促すために、家庭学習用の『学びノート』を活用することにしました。その効果は、次のように考えています。

① 基礎的な力を高めることができる。

計算問題、漢字練習などを繰り返すことによって、学力の基礎作りに役立つ。

② 創造性と自主性を高めることができる。

自ら課題を見つけ、自ら考え、自ら解決する力が身に付く。

③ 子どもの学習進捗が把握できる。

授業の進み具合や授業についていけているかどうかの目安となる。

④ 毎日のコンディションが把握できる。

子どもの気分がどんな状態であるか、その日のノート（文字やまとめ方）にあらわれる。

⑤ コミュニケーションツールとして活用できる。

保護者と学級担任が、子どもの取組に対してコメントを返すことで、「あなたをみている」「気にかけている」というメッセージが伝わり、安心感を与える。

⑥ プレゼンテーション能力を磨くことができる。

保護者や担任に見せることを前提にしたノートは、見やすさ・分かりやすさを心がけ、表現方法を工夫するトレーニングになる。



以上の内容をご理解の上、ご家庭でのご協力をよろしくお願いいたします。子どもたちの学習習慣の確立と学習意欲の向上に向けて、温かい声かけや励ましのコメントなど、引き続き『愛情』という水をたっぷり注いであげてください。

なお、『家庭学習の手引き～自ら学ぶ子をめざして～』は、来週の個人懇談の折にお渡しします。低・中・高学年用となっていますので、2，4，6 年の修了まで大切に保管をお願いします。

『学びノート』の使用時期・頻度については、担任から直接子どもたちに説明をします。